

武豊線 駅の無人化拡大についてのアンケート

1. アンケートの配布

- ◇ 期間 6月17日～6月21日
- ◇ 方法 武豊線内の駅での乗降客への配布
 - 17日 緒川駅 6:44～8:00
 - 18日 石浜駅 6:46～8:00
 - 19日 東浦駅 6:45～8:00
 - 20日 亀崎駅 6:50～8:00
 - 21日 半田駅 7:10～8:00

※ 駅頭での配布後に、駅周辺の住宅に配布。また、上記以外の武豊線内の駅周辺の住宅に配布。

- ◇ 配布枚数
全体で4000枚を配布。各駅頭での乗降客への配布は1500枚程度。

2. アンケートの返信

- ◇ 返信
枚数 137枚 6月18日から8月6日までの間に受け取り

3. 返信の内容 別紙を参照

(1) 返信数 137枚

配布を始めた翌々日（19日）から、8月まで1ヶ月半にわたり返信が届きました。7月までの1ヶ月間は途切れることなく届きました。

意見の欄、自由に記述していただく箇所に、びっしりと書き込まれたハガキが多くあり、チラシを手にとってから意見をまとめた後、返信いただいたことがうかがわれます。

配布から1ヶ月以上にわたり、返信が届くことの意味、その思いを受けとめる必要があります。

(2) 記載された各項目について

①性別の記載では、男女比が66：66と同数でした。年代別では40代・50代・60代で、約63%を占めています。利用目的では、「通勤」と「その他」にほぼ二分されています。

上記のことから、武豊線を通学で利用していると考えられる、10代・20代前半の年代が少ないのは通学で利用する世代が少ないためと推測されます。

また、利用の目的が「その他」が約53%と過半数となっています。70代・80代で約17%を占め、「その他」の利用目的が多くなったといえます。

②利用駅の記述を見ると武豊線の全駅にわたり、利用している方たちからご意見を寄せていただくことができました。

返信数の違いは、駅頭・駅周辺での配布の違いも反映していると思われます。

緒川駅の返信が最も多いという結果は、配布枚数とは必ずしも比例していませんが、駅頭で配布した際に受けとる人の割合では飛び抜けてよかった駅でした。JRへの関心、要望が広くあると言えるのかも知れません。

③武豊線への満足の度合いについて、満足から不満まで5つに区分してたずねました。

「少し不満」「不満」で約60%となっており、6割を超えました。返答をみるとなんらかの不満を持っておられ、利用者・沿線住民のみなさんの武豊線への関心、要望がひろくあることを感じます。

4. 寄せられたご意見について

(1) 全体について

寄せられたご意見の内容を見ると、以下のように傾向が表れています。

①列車の運行に関して

列車の運行については、運行本数が少ないこと、とりわけ日中の便数が少ないことへの不満が多くありました。そのうえで、列車本数の増加を求めるとご意見が最も多くありました。

その他には、停車駅の増、終電時刻の繰り下げ、名古屋への直通列車の増、列車の遅れの解消がありました。

②混雑の解消について

通勤時間帯での混雑への不満、その解消を求めるとご意見がありました。具体的には、列車の編成両数の増を求めるとご意見がありました。

③駅の無人化で想定される不安、トラブルについては、切符の購入への不安、不便となることに対するものが最も多くありました。その次ぎに治安・マナーの低下があげられています。

また、駅員が居なくなることでの様々な対応への不安も寄せられています。

④無人化に反対か否かということでは、やむを得ないという考えから駅の

無人化を受け入れるという意見が3件、ローカル線の雰囲気の評価し、無人駅を肯定する意見が1件であり、積極的に駅の無人化を肯定する意見は皆無でした。

⑤駅のあり方、鉄道への期待が寄せられました。武豊線の歴史、郷土の鉄道としての線区と駅・施設への愛着、誇りなども寄せられました。

(2) 鉄道、そのなかでの駅の役割について

駅が無人化することで、駅とその周辺の治安、環境の悪化への不安が多く寄せられ、駅員の存在が様々な場面で利用者の安心や駅を取りまく環境の維持に役立っているとの評価が寄せられています。

武豊線沿線の住宅開発が進んでおり、名古屋に近接するベッドタウンとして、鉄道の改善を求める意見が多くありました。

JR東海への要望として、武豊線の位置づけ、電化を控えての無人化拡大への疑問が寄せられています。

(3) ご意見をうけて

地域に武豊線への期待が強くあることを改めて実感します。駅の無人化が線区の発展、利用者にとって安全と利便性のうえから、望まぬことがはっきりと表れました。

乗降も多い線区、都市部の近郊線区として、今後の発展にそったダイヤ、駅などのあり方が問われています。

今回の駅無人化の拡大、新たな機器とシステムの導入が、利用の拡大につながるのか、おおいに疑問が残ります。

国民の財産である国鉄を承継したJRとしての経営姿勢、武豊線の将来について、住民・利用者に示すことが必要と考えます。

以上